

令和5年度中原区市民提案型事業結果発表会及び交流会 摘録

- 1 日 時 令和6年7月27日（土）13時00分～15時00分
- 2 場 所 中原市民館1階ラウンジ
- 3 出席者 委 員 今村副委員長、国谷委員、大城委員（欠席：小倉委員長、齋藤委員）
事務局 中原区役所まちづくり推進部企画課 北條課長、深谷課長補佐、森職員
- 4 議 題 (1) オープニング
(2) 交流会（前半）
(3) 発表会（ステップアップコース及びスタートコース）
(4) 発表会（スタートコース）
(5) 交流会（後半）
(6) エンディング

5 会議内容

(1) オープニング

【事務局から結果発表会及び交流会の概要等について説明】

(2) 交流会（前半）

【参加者や各団体同士の交流】

(3) 発表会（ステップアップコース及びスタートコース）

- (ア) 事業名：なかはらペット防災コミュニティ立ち上げとペット防災意識の啓発イベント事業
実施団体：一般社団法人Nボノ

【団体から事業結果報告】

【講評】小倉委員講評（事務局代読）：

ペット防災のコミュニティの立ち上げはできなかったが、今回の事業では、ペット防災を地域で考えるきっかけになったこと、ペットを飼っている方の中には、十分な防災意識やペットの管理意識（予防接種、しつけ、備品の備蓄、名札、マイクロチップ、寄生虫やダニ駆除等）を持っていない方が少なくないことがわかったこと、SNSで仲間の広がりやできたことなどが大きな成果と思う。今回のアンケートの結果も踏まえ、引き続きペット防災講座を実施し、より多くの方に関心を持ち取り組みに参加してもらえるよう活動を続けてもらえればと思う。なお、コミュニティ立ち上げは、簡単ではないので、まずは情報共有、相互学習、地域理解を優先させるのが良いと思う。SNSでの仲間づくり、イベントでの交流を続け、そこでつながった飼い主がオフ会する機会を作るのも今後のコミュニティづくりのベースになるかと思う。

ペットの災害対策のPDFが市HPで掲載されている。飼い主の方は特にこのような情報を取り、日ごろから備えをできるよう活動を通じて啓発できればと思う。今後も地域のため、継続してもらえればありがたい。

(イ) 事業名：なかはら！わんことこどもの運動会クラブ

実施団体：特定非営利活動法人シェアドッグスクール

【団体から事業結果報告】

【講評】 今村委員：

命の大切さを伝える意義のある取組であり、参加した方の癒しにもなったと思う。活動を通じて、子ども達やこども文化センター等とも関係が築けたこと今後の活動に生きると思う。市民提案型事業を3年間実施し、今後どのように続けていくかが一番難しいところであり、提案書にも記載していたクラウドファンディング等を活用しながら引き続き取り組んでほしい。

(ウ) 事業名：地域をモデルにした絵本作りと読み聞かせ

実施団体：絵本の会パンジー

【団体から事業結果報告】

【講評】 大城委員：

自分の住んでいる町が元になった絵本は、子どもの心に残ると思うし、絵本を見た子どもが将来大きくなって、自分の子どもにこの絵本の話をしてくれたらよいと思った。せせらぎが身近な下小田中小学校、井田小学校、新城小学校で、絵本を通してせせらぎによる交流が生まれたら面白いと思った。今回は下小田中小学校近くでの活動であったが、活動の内容としても、インタビューする形式の絵本の内容としても他の地域でも展開できる活動であると思う。

(エ) 事業名：指ヨガを通じた健康と美容事業

実施団体：指ヨガ café

【団体から事業結果報告】

【講評】 国谷委員：

活動1年目で6回の講座ができたことがすごいと思う。「指ヨガ」の性質上避けられないが、講師と参加者が至近距離まで近づくとなると参加しづらいとってしまう人がいると思うので、参加者を増やすためには、顔を知ってもらうことがとても重要だと思うので、こども文化センターや市民館、かわさき市民活動センターの交流会等の活動に積極的に参加するとよいと思う。なお、1回の講座で何人くらいの参加者が適正か。

団体：

講師が1対1で参加者に対応するので、1時間で10人程度が適正と考えている。

国谷委員：

講師と参加者でつながりができ、子育て中のお母さん達から頼られる存在になれるとよいと思う。

(4) 発表会（スタートコース）

(ア) 事業名：子供の為の音楽ワークショップ（音ワーク）

実施団体：音楽工房ドレミ

【団体から事業結果報告】

【講評】国谷委員：

学校での公演を目指すとのことであったが、学校は働き方改革等に取り組んでいるので、学校の外注先になれるよう頑張してほしいと思った。ワークショップ等は、親が送り出せる環境にある恵まれた子でないと行くのは難しいので、学童保育や寺子屋などみんなが触れられる場所で活動してもらえたらよいと思った。

講座は有料にしないのか。

団体：

令和5年度に市民提案型事業として実施していた際には無料にしていたが、令和6年度の活動では、材料費等を実費負担として徴収している。なお、令和5年度の活動では参加者集めに苦勞したが、令和6年度の活動では、募集開始後すぐに満員となった。

国谷委員：

活動が広がっていることすばらしいと思う。

(イ) 事業名：音楽療法の会

実施団体：：アトリエまどか

【団体から事業結果報告】

【講評】大城委員：

市民生活において、コロナ禍の影響はとても大きく、その期間にできた穴を埋めるためにたくさんの活動が行われているが、その影響で困っている人、困っていることに気づいていない人にとってとても響く活動であったと思う。区役所による活動場所と広報の支援は効果がとても大きく、市民活動団体ではどうやってリーチしたらよいかわからず自分で考えるのも難しいので、区役所にはこういう方法や手段があるということ教えてほしいし、市民活動団体同士でも情報交換できるとよい。会場が駅から遠かったこともあり、参加者が少なかったことを気にする必要はなく、活動を始められたことが大事ですばらしいことだと思う。

(ウ) 事業名：子育て世代のハッピーマネープロジェクト

実施団体：ハッピーマネー研究所

【団体から事業結果報告】

【講評】今村委員：

近年、社会的にもお金との向き合い方が変わってきたと感じている。また、自分の経験に照らしてもお金と向き合うことの重要性を感じているところだが、行政としてはこれまであまり取り組めていない内容であり、活動を続けてもらいたいと思う。リスクの多い投資を進めるのではなく、お金のことを考える大切さを伝えてもらえたらと思う。集客が課題とのことで、その点は今後工夫してもらいたいと思うし、親子向けの講座も考えているとのことで、親子が話すきっかけになればすばらしいと思う。

(5) 交流会（後半）

【参加者や各団体同士の交流】

(6) エンディング

以上